

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査（J-ASPECT study）

*レセプト：医療機関が健康保険組合に提出する診療報酬明細書

【目的】

この研究では、救急搬送を含む入院から退院までの一貫した脳卒中および脳神経外科治療に関する大規模データベースを構築し、その実用性、妥当性の検証を行うことを目的としています。

【対象】

2016年4月から2020年3月の間に、脳卒中または脳神経外科治療に関連する診療を受けた方

【方法】

2019年4月～2020年3月分のDPCデータをオンライン（高セキュリティ型のWebサーバへアップロード）にて外部委託業者（健康保険医療情報総合研究所：PRRISM）へ提出します。提出されたデータを集積して必要な情報を抽出した解析用データセットを作成し、国立循環器病研究センターで管理され研究者が解析します。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

*DPC（診療群分類包括評価）：入院期間中に治療した病気の中で最も医療資源を投入した一疾患のみに厚生労働省が定めた1日当たりの定額の点数からなる包括評価部分（入院基本料、検査、投薬、注射、画像診断など）と、従来どおりの出来高評価部分（手術、胃カメラ、リハビリなど）を組み合わせで計算する方式

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療報酬算定情報：DPC（生年月日、性別、郵便番号、発症日、入院日、入院経路、画像検査所見、基礎疾患、合併症、退院日、退院先、治療内容等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2026年3月31日まで

【研究代表者】

国立循環器病センター 病院長 飯原 弘二

【共同研究機関】

<https://j-aspect.jp/sisetsumap.php>へ掲載されています

【データ収集、データベースの構築（データ分析作業の一部）】

健康保険医療情報総合研究所（PRRISM） 代表取締役社長 山口 治紀

【当院の研究責任者】

脳神経内科 山口 滋紀

【連絡先】

横浜国立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1
電話 045-316-4580（病院代表） 脳神経内科 山口 滋紀

*このJ-ASPECT研究に関する情報は、研究班ホームページ（<https://j-aspect.jp/>）にて公開されています。

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。